



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月3日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8158 URL <https://www.sodanikka.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 目崎 龍二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 岩淵 修 (TEL) 03-3245-1803  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,566	6.7	538	47.9	723	27.9	509	29.1
2023年3月期第1四半期	14,583	15.2	364	46.6	565	86.9	395	42.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,339百万円(848.7%) 2023年3月期第1四半期 141百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	22.21	—
2023年3月期第1四半期	17.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	69,894	27,156	38.9
2023年3月期	69,292	26,437	38.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 27,156百万円 2023年3月期 26,437百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.00	—	27.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,500	8.2	890	6.8	1,100	0.7	800	0.4	34.85
通期	65,300	4.1	1,850	6.2	2,180	2.3	1,600	6.2	69.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	22,968,000株	2023年3月期	22,968,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	9,556株	2023年3月期	9,556株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	22,958,444株	2023年3月期1Q	22,668,337株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、感染症の分類変更に伴う個人消費の増加やインバウンド需要の拡大等、非製造業の景況感改善に支えられ、緩やかな回復の動きが見られました。一方で、世界的な金融引締めが続く中、海外経済の下振れによる輸出の減少等、景気の変動に注意を要する状況が続きました。

当社グループに関係の深い化学産業を中心とする国内製造業につきましても、部材不足緩和による自動車輸出の回復や、原材料価格の騰勢鈍化による収益改善等、直近では持ち直しの兆しがみられました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては当事業年度より4ヵ年の新中期経営計画「Go forward STAGE3」を始動させました。本計画は長期ビジョンに基づき新たな成長軌道をつくるための「変革」を果たすステージと位置付けております。この方針に基づき、時代の変化に即したビジネスモデルの発展等を念頭に事業活動に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 15,566百万円（前年同期比 6.7%増）、営業利益 538百万円（同 47.9%増）、経常利益 723百万円（同 27.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 509百万円（同 29.1%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。また、各セグメントに属する商品群及び、主な構成要素を以下表に記載いたします。

表：各セグメントに属する商品群及び主な構成要素

セグメント	商品群等	主な構成要素
化学品事業	ソーダ関連薬品	か性ソーダ、塩酸等のソーダ工業に関する薬品
	その他の無機薬品	硫酸、アンモニア等のソーダ関連薬品以外の各種無機薬品
	有機薬品	溶剤、界面活性剤等の各種有機薬品
	その他	キレート剤、グラウト材料等、上記に属さない化学薬品
機能材事業	包装関連商品	フィルム、容器、包装関連機器等の包装に関連する各種商品
	合成樹脂関連商品	樹脂原料、添加剤、成型品等の合成樹脂に関する各種商品
	設備・工事・産業材料	汎用機械、生産用機械等の各種設備、付帯工事及びエレクトロニクス、建築向け等の産業材料
	その他	雑貨品等、上記に属さない工業用資材等
その他事業	連結子会社8社	ソーダニッカビジネスサポート㈱、曹達日化商貿（上海）有限公司、PT. SODA NIKKA INDONESIA、(株)日本包装、SODA NIKKA VIETNAM CO., LTD.、モリス㈱、(株)日進、(有)野津善助商店
	賃貸収入	保有動産・不動産等の賃貸による収入

**【化学品事業】**

売上高は前年同期に比べ10.4%増の10,523百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ23.5%増の799百万円となりました。セグメント利益への影響を基準とした、商品群別の取引推移等は以下のとおりであります。

ソーダ関連薬品は好調に推移いたしました。主力のか性ソーダは、各取引が堅調に推移したことにより取引増加となりました。また次亜塩素酸ソーダは官公庁向けの需要伸長により取引増加となり、炭酸ソーダにつきましては日用品業界向けの販売数量回復等より取引増加となりました。

その他の無機薬品は好調に推移いたしました。アルミニウム化合物は自治体向け水質処理剤の新規受注等により取引増加となりました。またマンガン化合物は電池材料向けの販売数量伸長により取引増加となったほか、硫酸はエレクトロニクスや製紙業界向けの取引が堅調に推移したことにより取引増加となりました。

有機薬品は好調に推移いたしました。製紙用ラテックスは新規受注により取引増加となりました。またフッ素系溶剤は一時的な需要伸長により取引増加となりました。

上記以外のその他の商品群は好調に推移いたしました。トイレタリー関連商品は日用品の受託製造取引の新規受注に伴い取引増加となりました。

**【機能材事業】**

売上高は前年同期に比べ4.9%減の3,145百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ18.8%増の232百万円となりました。セグメント利益への影響を基準とした、商品群別の取引推移等は以下のとおりであります。

包装関連商品は好調に推移いたしました。ナイロンフィルムは国内外向け食品用包材の需要好調に伴い取引増加となりましたが、包装用フィルム・シートはアルミ箔の一時的な需給調整により取引減少となりました。また複合フィルム及びポリプロピレンフィルムは食品業界向け案件の新規受注や需要伸長により取引増加となりました。

合成樹脂関連商品はやや低調に推移いたしました。物流容器は新規案件の受注により取引増加となりました。工業用製品は設備用樹脂部材等において前年度のスポット取引分が減少となりました。ガラス短繊維は輸送機器の生産調整等に伴い取引減少となりました。

設備・工事・産業材料は好調に推移いたしました。排水処理装置は案件減少となりましたが、機械器具設置工事及び化学装置関連機器は案件増加となりました。

**【その他事業】**

売上高は前年同期に比べ8.5%増の1,896百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ37.8%増の82百万円となりました。

**（2）財政状態に関する説明**

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ601百万円増加いたしました。

増減の主なものは資産の部では、現金及び預金が1,275百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が371百万円それぞれ減少し、有形固定資産が1,050百万円、投資有価証券が1,172百万円それぞれ増加いたしました。負債の部では、未払法人税等が380百万円減少しました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が814百万円増加しました。

**（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

2024年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日付公表の数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,405	7,129
受取手形、売掛金及び契約資産	41,996	41,624
商品及び製品	1,512	1,563
その他	774	758
貸倒引当金	△114	△88
流動資産合計	52,573	50,986
固定資産		
有形固定資産	3,235	4,285
無形固定資産	123	114
投資その他の資産		
投資有価証券	12,604	13,777
破産更生債権等	5	5
その他	756	730
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	13,360	14,506
固定資産合計	16,719	18,907
資産合計	69,292	69,894

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,085	32,026
短期借入金	4,757	5,157
未払法人税等	519	139
契約負債	166	133
引当金	437	226
その他	995	763
流動負債合計	38,961	38,446
固定負債		
繰延税金負債	1,683	2,100
退職給付に係る負債	1,192	1,193
その他	1,018	997
固定負債合計	3,893	4,291
負債合計	42,855	42,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,116	3,116
利益剰余金	13,999	13,889
自己株式	△6	△6
株主資本合計	20,871	20,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,279	6,094
繰延ヘッジ損益	△3	△1
土地再評価差額金	196	196
為替換算調整勘定	96	107
退職給付に係る調整累計額	△2	△1
その他の包括利益累計額合計	5,566	6,395
純資産合計	26,437	27,156
負債純資産合計	69,292	69,894

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	14,583	15,566
売上原価	12,651	13,445
売上総利益	1,931	2,120
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	326	289
給料及び手当	492	523
賞与引当金繰入額	149	161
役員賞与引当金繰入額	8	6
退職給付費用	29	25
その他	560	575
販売費及び一般管理費合計	1,567	1,581
営業利益	364	538
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	169	167
その他	42	28
営業外収益合計	212	197
営業外費用		
支払利息	5	7
シンジケートローン手数料	4	4
その他	1	0
営業外費用合計	11	12
経常利益	565	723
税金等調整前四半期純利益	565	723
法人税、住民税及び事業税	119	140
法人税等調整額	51	73
法人税等合計	170	213
四半期純利益	395	509
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	395	509

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	395	509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△289	814
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	31	11
退職給付に係る調整額	2	1
その他の包括利益合計	△253	829
四半期包括利益	141	1,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141	1,339
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,528	3,307	1,748	14,583	—	14,583
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	253	326	619	△619	—
計	9,567	3,561	2,074	15,203	△619	14,583
セグメント利益	647	195	60	902	△538	364

(注) 1. セグメント利益の調整額△538百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,523	3,145	1,896	15,566	—	15,566
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	243	304	593	△593	—
計	10,568	3,389	2,201	16,159	△593	15,566
セグメント利益	799	232	82	1,114	△575	538

(注) 1. セグメント利益の調整額△575百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。